

# 【月案】8月・2歳児

## 今月の保育のポイント

- 自分の思いを主張し、活発に友達と遊ぶ2歳児。暑さによる体力の低下に注意し、健康に過ごすことを第一とする。
- 快適な環境の中で睡眠、食事、生活ができるよう、室温湿度計を見ながらクーラー等で快適な空間をつくる。
- 保育者や友達と、水、砂、泥など自然物の感触を、十分に楽しめるよう、プール遊びをはじめ、自由遊びで水を使える環境を用意する。
- 自分の思いを主張しながら友達同士で思いをぶつけあい、時に助け合いながら人との関わりを体験していく。
- 自分で脱ぎ着する満足感を得るために、「よくできたね」と子どもの姿を認め、必要に応じて援助を行う。
- 個別の段階に合わせて生活、友達同士の関わりに保育者が入り、達成感や自信、他者の尊重につなげていく。

## 月のねらい

- 暑さに負けずに、健康的に過ごす。
- 水や泥に触れ、夏ならではの遊びを思う存分楽しむ。
- 保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 長期休み明けの気持ちや生活リズムに寄り添い、心地よく過ごせるようにする。
- 自分で着脱することの喜びを味わう。
- 夏の歌や踊り、絵本、行事等を通して夏の季節を感じる。

## 週のねらい

### その1

- 1週目：汗や水で濡れたら着替え、清潔にする心地よさを感じる（養護）
- 2週目：夏ならではの遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ（教育）
- 3週目：夏祭りに参加し、お祭りの雰囲気を楽しむ（教育）
- 4週目：自分の思いを、簡単な言葉で表現しようとする（教育）

### その2

- 1週目：簡単な身の回りのことを自分でできるようになる（養護）
- 2週目：個々にあったトイレトレーニングを行っていく（養護）
- 3週目：自分の気持ちを言葉や仕草で表現する（教育）
- 4週目：夏の生き物や草花を見て興味を持ち、名前を知ろうとする（教育）

### その3

- 1週目：走ったり、その場でジャンプをしたりしながら体を動かす喜びを感じる（教育）
- 2週目：水分補給をしたり休息をとりながら元気に過ごす（養護）
- 3週目：様々な感触に触れ、驚きや発見を表情や言葉で表現する（教育）
- 4週目：無理なく園生活を取り戻せるようにする（養護）

## その4

- 1週目：友達の遊びに興味を持ち、関わって遊ぼうとする（教育）
- 2週目：歌をうたったり、踊りを踊る中で季節を感じる（教育）
- 3週目：夏野菜を収穫することを喜び、食べることに興味を持つ（教育）
- 4週目：休み明けの気持ちに寄り添い、安定して過ごせるようにする（養護）

## 前月末の子どもの姿

### 養護（生活）

- 衣類や靴の着脱など、身の回りのことに興味を持ち、自分でやろうとする子どもが多い。
- 食事の際には自分でスプーンを持って、保育者に声をかけられながら正しくスプーンを使おうとする姿が見られる。
- 午睡の際には一定時間心地よさそうに眠っていることが多いが、起きる際にはしぶる姿が見られる子どももいる。
- 排尿後の後始末や衣類の上げ下げを、自らやろうとする姿が見られる。汗をかいているとなかなかうまく上げられない時もあるが、意欲的に行っている子どもが多い。
- 手洗いうがいのやり方を覚え、自ら行う姿が見られる。時には水で遊んでしまい、袖が濡れてしまう子どももいる。
- 気温が高くなっても活発に体を動かしている。汗をたくさんかく様子が見られている。
- 友達がトイレで排泄していることに刺激を受け、トイレトレーニングに意欲的な姿が見られている。
- 鼻水の症状が見られ始める。保育者に拭いてもらったり、自分で拭こうとする。
- 戸外で遊ぶ際に帽子を被るが、暑くなり帽子を脱いでしまうことがある。
- 水分補給の声がけをすると、自分から飲む子、飲むことを嫌がる子がいる。

### 教育（遊び）

- 水遊びや泥んこ遊びに興味を持ち、楽しんでいた。中には顔に水がかかるのを嫌がる子どももいる。
- セミやザリガニなど、夏ならではの生き物に興味を示し、観察したり触ったりしていた。
- 知っている音楽がかかると、歌を歌ったり身体を動かしたりし、楽しんでいる姿が見られた。
- 七夕の製作に意欲的に取り組み、異年齢の友達と行事に参加することを喜んでいました。
- 年長児が夏野菜を収穫する姿を見たり、収穫した夏野菜に触れたりし、興味津々な姿が見られた。
- プール遊びや水遊びをすることを伝えると、喜んだり、意欲的に支度を始める。
- 「○○ちゃんどこ？」「おいで」と友達を探したり、一緒に遊ぼうとする。
- ブロックを組み立てることやパズルを組み合わせることに集中している姿が見られる。
- 目の前の出来事や友達に興味を持ち、「車、行ったね」「泣いてるね」と言葉にして伝えようとする。
- 0歳児に積極的に関わり、泣いていると頭を撫でたり、玩具を渡そうとする。強い力になってしまふことがある。

## 活動内容（5領域対応）／環境構成と援助

### 養護（生活）

- **活：**脱ぎづらい時には保育者に手伝ってもらいながら、衣類の着脱を自分で行おうとする。（健康）  
**環：**衣類の着脱を自分でしようとするが、汗などで着脱が難しい時にはさりげなく援助していく。子どものやる気を奪わないよう、肯定的な声かけを行うようにする。
- **活：**尿意や便意などをしぐさや言葉で表し、トイレで排泄しようとする。（健康）  
**環：**尿意を感じる時にはしぐさで表現する子どもも増えてくる。子どものしぐさや行動を見ながら、トイレに行きたいサインを見逃さないようにする。
- **活：**自分の思いを簡単な言葉で表現しながら、友達や保育者と関わることを楽しむ。（言葉・人間関係）  
**環：**自分の気持ちを言葉で表現しようとするが、うまく言葉が出ない子どももいる。話す時間をゆったりと持ったり代弁しながら気持ちを聞くことで、言葉で表現できた満足感を味わえるようにする。
- **活：**食事の際にはスプーンの持ち方や座る姿勢に気をつけながら食事を進める。（健康）  
**環：**スプーンの正しい持ち方を繰り返し伝え、子どもが覚えられるようにする。無理強いせず、様子を見ながら伝えるように気を付ける。
- **活：**自分の気持ち、要求、困っていることを言葉やしぐさで保育者に伝える。（人間関係）  
**環：**子どもの様子を見ながら言葉が出るまで最後まで聞き、発言の機会を保障し、その上で代弁等の援助を行って伝わる喜びが実感できるようにする。
- **活：**保育者に見守られながら、十分に睡眠をとる。（健康）  
**環：**室温だけでなく、湿度にも気を配りながら、快適に子どもが眠れるように配慮をする。
- **活：**自分で着替えたり、汚れ物をしまうなど、一連の生活行動を自分で完結しようとする。（健康・環境）  
**環：**自分でやりたい気持ちを大切に、少々片付ける所が違ったり、はみ出ていたりしたとしても、そっと手直しをし、「自分で出来たね」と一緒に喜ぶようにする。また、出す、片付ける場所を明確化しておく。
- **活：**帽子を被ったり水分補給をする大切さを知る。（健康）  
**環：**絵本を用いたり、「帽子を被らないと頭が熱くなって元気がなくなっちゃうの」「たくさん遊んだからお水を飲んで少し休もうね」等と分かりやすい言葉で日々関わっていく。
- **活：**友達と一緒に楽しい雰囲気の中、トイレで排泄をする。（健康）  
**環：**「○○ちゃんとトイレ行こう」「皆で電車になって行こう」等とトイレに行く意欲に繋げ、排泄できたことを大いに認めることで喜びや自信に繋げる。
- **活：**鼻水が出ていることに気付き、保育者と一緒に拭いてみようとする。（健康）  
**環：**自分で気付けたことを大いに認める。様子に応じて保育者が「鼻水出てるよ」と伝えたり、鏡と一緒に確認しながら気付きに繋げる。手を添えて片方ずつ優しく鼻かみができるよう援助する。
- **活：**保育者や友達と一緒に夏祭りに参加する。（人間関係・環境）  
**環：**夏祭りの飾りを一緒に作ったり、園舎内の提灯ややぐら、神輿等を見て回ったり、年上の子達の夏祭りの練習を一緒に見たりしながら夏祭り当日を楽しみにできるように関わっていく。
- **活：**休み明けの疲れや甘えを受け止めて、無理なく過ごせるようにする。（健康）  
**環：**気持ちに寄り添い室内でゆったりと過ごしたり、早めのお昼寝を取り入れながら少しずつ園生活を整えられるようにする。
- **活：**次の活動を楽しみにしながら、身の回りのことに取り組もうとする。（健康）  
**環：**絵カードを使ったり、分かりやすい簡単な言葉で活動を伝えていくことで意欲的に身の回りのことに取り組めるようにする。姿を大いに認めながら喜びや自信に繋げていく。

- **活**：汗をかいたら着替えたり、拭いたりすることが心地良いと感じる。（健康）  
**環**：着替えの際に体が冷えないよう、室温に留意する。「サラサラなお洋服になったね」「サッパリしたね」等と気持ち良さを感じられる言葉かけをする。

## 教育（遊び）

- **活**：紙芝居や絵本の好きなセリフを繰り返す、わらべうたなどを楽しむなどし、言葉遊びを楽しむ。（言葉）  
**環**：子どもが好きな絵本や紙芝居を繰り返し読むことで、言葉にも興味を持てるようにしていく。また、わらべうたなども必要に応じて取り入れ、簡単な言葉遊びを何度も楽しめるように工夫していく。
- **活**：絵の具やシャボン玉などの活動に喜んで参加する。（環境）  
**環**：シャボン玉の際には誤飲のないように配慮する。手に持って行えるようにする、少人数で行うなど、環境や進め方に気を付ける。
- **活**：年上の友達や保育者と一緒に夏野菜を収穫することを楽しみにする。（環境・人間関係）  
**環**：作物に対して子どもの人数が多い場合はグループごとに分けるなどし、場所が狭い場合は押し合いよせによる転倒に気を付けながら見守る。
- **活**：散歩に出かけ、夏の自然や生き物に触れて遊ぶ。（環境）  
**環**：散歩の際には、見つけた草花などを持ち帰れるよう、袋などを準備しておく。周囲に危険がないか事前によく確認し、伸び伸び過ごせるようにする。
- **活**：プールや泥んこ遊びに参加し、思う存分楽しむ。（環境）  
**環**：泥んこ遊びの際には、汚れてもいい衣類に着替えられているか、よく確認を行う。また、遊んでいる最中にすぐに手や顔が拭けるよう、濡れタオルなども準備しておく。
- **活**：のりやマジックなどの道具を使いながら楽しく製作に取り組む。（表現・環境）  
**環**：のりやマジックなどの性質を試しながら学べるように、「指一本でつけると良いよ」など子どもの状態にあった援助や声かけをする。
- **活**：身近な虫や草花、夏野菜の収穫を楽しむ。（人間関係・環境）  
**環**：夏野菜の収穫を通して、周りにいる虫が葉っぱを食べていたり、他の草花と一緒に生えている環境全体を楽しめるように、子どもの発見と分かち合いが夏野菜の味と共に残るよう、1人ひとりの共感を大切にす。また、見つけたものを写真に撮っておき、いつでも見られるようにする。
- **活**：友達や保育者と一緒に見立て遊び、ごっこ遊びを楽しむ。（人間関係）  
**環**：一緒に遊びながら子どものイメージを膨らませたり、つなげたりする声掛けをする。
- **活**：ディペインティングや絵の具遊びを通して、のびのびと表現力や創造力を発揮する。（健康・表現）  
**環**：汚れや大きく描くことに抵抗のある子どもには、筆や紙を用意し、少しずつ表現活動ができるように用意しておく。保育者も全身でペインティングを楽しんだり、「こんな色になった！」と発見を喜ぶ。
- **活**：夏の遊びに興味を持ち、様々な関わり方で遊ぶ。（環境）  
**環**：いろいろな道具や玩具を用意しておき、それらを使って遊びを広げようとする姿を温かく見守る。又、保育者が新しい遊びを提案することで、興味や新鮮な気持ちで新たに夏の遊びを楽しむようにする。
- **活**：笑ったり泣いたり様々な思いを経験しながら友達と遊ぶ楽しさに気付いていく。（人間関係）  
**環**：同じ場所や玩具で楽しそうに遊ぶ姿を「○○くんと同じで楽しいね」と共感する。トラブルの際には互いの気持ちを受け止めて相手に代弁したりしながら丁寧に関わっていく。
- **活**：保育者の動きを真似しながら音楽に合わせて体を動かすことを楽しむ。（表現）  
**環**：新しい体操や踊り、リトミックでも保育者が楽しそうに体を動かすことで興味や意欲に繋げていく。一人ひとりの表現を笑顔で認めて、楽しさや表現する力に繋げていく。

- **活**：夏の歌や絵本等を通して夏の季節に興味を持つ。（環境）  
**環**：歌にちなんだ写真やイラストとともに歌をうたったり、分かりやすい絵本や図鑑を用意することで夏に対する興味や関心に繋げていく。又、実際に戸外で触れることで夏の自然や歌、絵本に親しめるようにする。
- **活**：ごっこ遊びを通して夏祭りの余韻を楽しむ。（人間関係・表現）  
**環**：夏祭りをイメージして出店ごっこを行ったり、玩具で作った物を「お神輿みただね」「水風船釣ったね」等と見立て夏祭りの余韻を感じられるようにする。
- **活**：ブロックや積み木、パズル等興味がある遊びをじっくりと楽しむ。（環境）  
**環**：組み立てやすいブロックを用意したり、数ピースのパズルを用意して遊ぶ意欲に繋げる。完成した物を大いに認めることで達成感や満足感を味わえるようにする。
- **活**：保育者と言葉でやりとりをすることを楽しむ。（人間関係・言葉）  
**環**：子どもの言葉を反復したり、「○○は楽しかった？」「大きかった？」等と問いかけながら簡単なやりとりが続くよう関わり、コミュニケーション能力や言葉の増加に繋げていく。
- **活**：走ったり、跳んだり体を動かして遊ぶことを楽しむ。（健康）  
**環**：楽しい雰囲気の中で追いかっこや縄跳び、巧技台遊びを取り入れ、基本的な運動能力の習得や自分の体をコントロールする力を育てていく。
- **活**：プール遊びの簡単な約束事を守ろうとする。（健康）  
**環**：保育者が実際に示しながら「これはしても良い？マルかな、バツかな？」と答えやすいように問いかけ、考えたり意識したり出来るようにする。遊びに夢中になり守れないことも多いため、個別に声がけをしていく。

## 健康、安全面で配慮すべき事項

- 熱中症対策にも配慮し、外に出る時は帽子を被ったり水筒を持参したりする。また、木陰で遊べるように場所のチェックもしっかりと行う。
- プール遊びの際には、プールサイドで走ったり転んだりしないようルールを伝え、見守りも複数の保育者で行えるようにする。
- 外気温と室内の温度差に気を付け、体が冷えすぎないようにする。
- プール遊び後はすぐに水を抜き、事故防止に努める。

## 今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

### 製作

- びっくりスイカ／おばけがばあ！／スタンプでかき氷製作

### 歌

- きんぎょのひるね／ゆりかごのうた／アイアイ

### 絵本

- こぐまちゃんのみずあそび／おばけだじょ／さんさんさんぼ

### 手遊び

- サイダー／かきごおり／いわしのひらき

## 室内室外遊び

- 寒天でひんやり感触遊び／フィンガーペインティング／水遊びのススメ

## 行事

- プール遊び
- 夕涼み会（夏祭り）
- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 水の日（8/1）
- 原爆の日（8/6, 9）
- 山の日（8/11）
- お盆（8/13～）
- 終戦記念日（8/15）

## 食育

- 夏野菜に触れ、食材や栄養、身体との関係に興味を持つ。
- スプーンやフォークを使い分けながら食事を進める。
- 食べこぼしたら拭く、手を清潔にするなどこまめに行い、清潔な環境で食事をすることの大切さに気づく。
- 心地よい環境の中で食事をすることを楽しむ。
- 夏祭りならではの料理に興味を持ち、食べてみようとする。
- 友達とグループになって食べることを楽しむ。

## 異年齢保育

- 年上の友だちと色水遊びを楽しむ様子を見守り、適切なタイミングで遊びが発展する声かけを行う。
- お盆期間の保育では、異年齢の友だちとの交流を見守り、互いに親しめるよう仲立ちする。
- 夏野菜の生長への興味を大切に、年長児の収穫の様子を見学したり、共に体験できるようにする。
- 給食時に、年上の友だちに刺激を受けて苦手な食材に挑戦する姿を認め、自信につなげる。
- 一緒に遊ぶ友だちに言葉で思いを伝えようとする姿を大切に、必要に応じて言葉を補う。

## 職員間の連携

- 毎日の生活の流れやその日の活動内容を共有し、子どもへの援助がスムーズに行えるようにする。
- 水遊び時の子どもの様子をもとに、玩具や素材、環境設定を話し合い、遊びに取り入れていく。
- 子どもが身の回りのことに自ら取り組む意欲を育めるよう、関わり方について話し合い、共有する。
- 食欲が落ちやすい時期のため、子どもの様子を職員間で共有し、給食の量を適切に調整する。
- 担任不在時でも子どもが安心して過ごせるよう、普段の様子や必要な配慮を職員間で丁寧に引き継ぐ。

## 地域と家庭との連携

- プール熱やとびひの症状や処置の仕方などを掲示板に貼ったり、手紙を配布したりすることで、症状が出た場合には早期に対応してもらえるようにする。
- 汗をかいたり水で濡れたりすることもあるため、着替えの補充をこまめにおこなってもらえるように声をかける。
- 暑さで疲れやすい季節であるため、お盆休み中の生活リズムにも配慮してもらえるようお願いする。
- 長期休み中の体調や生活リズムを共有したり、久しぶりの登園時は園での様子を丁寧に伝えていく。
- プール遊びや水遊びを毎日行う可能性があることを伝え、準備物の協力をお願いしたり、用意に対して感謝を伝える。
- トイレトレーニングは保護者の焦る気持ちや悩み等を受け止めながら、子どもの様子に合わせて無理なくパンツに移行していけるよう関わっていく。

## 長時間保育の配慮

- 疲れが出やすい夕方は、子ども同士のやり取りに丁寧に寄り添い、穏やかに交流できるよう援助する。
- 個々の排尿間隔に合わせてトイレに誘い、便器に座ったり排尿できた姿を認めて自信につなげる。
- 夕方は涼しくなった戸外で過ごす時間を設け、心地よく体を動かせるようにする。
- 他児のお迎えに敏感な子の気持ちに寄り添い、わらべうたあそびや絵本に誘い、安心感を育む。
- 帰りたがらない子どもの気持ちに寄り添い、次の日も遊びの続きができるよう柔軟に対応する。

## 自己評価

- 衣類が脱ぎづらい時には保育者に手伝ってもらいながら、自分で行おうとできたか。
- 尿意などをしぐさや言葉で表現し、トイレで排泄しようとする姿が見られたか。
- 自分の思いを保育者や友達に簡単な言葉で伝えようとしていたか。
- 食事の際にはスプーンの持ち方や座る姿勢に気をつけて食事を進められたか。
- 紙芝居や絵本、わらべうたに親しみ、言葉遊びを楽しめたか。
- 絵の具やシャボン玉などの活動にも喜んで参加していたか。
- 散歩に出かけ、夏の自然や生き物に触れて遊ぶことができたか。
- プールや泥んこ遊びに喜んで参加し、思う存分楽しんでいたか。
- のりやマジックなどの道具を使いながら製作を楽しんでいたか。
- 長期休み中の体調や生活リズムに配慮したか。
- 簡単な言葉で伝えようとする姿をじっくりと待ち、思いを受け止めたか。
- 楽しい雰囲気の中でトイレトレーニングが出来たか。
- 子どもにも分かりやすく伝えながら、熱中症予防に努めたか。
- 夏野菜の収穫を楽しみ、食べることに意欲的だったか。
- 夏祭りを楽しみにしたり、楽しんで参加できるよう働きかけたか。
- 友達と関わることを楽しんでいたか。
- 保護者に対して準備物の協力を感謝したか。
- 子どもの様子を伝えながら、無理なく布パンツに移行できるよう関わったか。

# ほいくのおまもり Plus!

## 文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー&ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

